

宮古盛岡横断道路 平津戸松草道路 (仮称)平津戸トンネル 貫通式

概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ延長約6.6kmの地域高規格道路であり、そのうち「平津戸松草道路」は、宮古市平津戸～区界第4地割間の約7kmにおいて整備する区間です。

この区間は、平成23年度に事業化となりました。

現在の国道106号は急カーブ・急勾配が集中する区間があり、また宮古市・盛岡市境の区界峠付近は降雪量も多く、交通の障害となっています。

整備により通行の難所を回避する形となり、冬期の安全性が向上し、安全・安心な住民生活、交流・物流の活発化や周遊観光の活性化、災害時における緊急輸送路の確保等の効果が期待されます。

このたび、宮古盛岡横断道路の宮古市内の区間では最長となる「(仮称)平津戸トンネル」(延長3,159m)の「貫通式」が執り行われました。

宮古盛岡横断道路 平津戸松草道路 (仮称)平津戸トンネル 貫通式 開催状況

開催日時：平成30年 5月19日(土) 10:00～11:00

開催場所：宮古市平津戸 地内 (仮称)平津戸トンネル 盛岡市側坑口付近



▲「久寿玉開披」



▲「通り初めの儀」



▲ 宮古市 山本市長からの「祝辞」



▲復興庁岩手復興局 山下局長からの「祝辞」



▲ 出席者全員で万歳三唱



▲出席者一同で記念撮影